

防 災 係

1 災害対策

(1) 訓練

ア 福生市総合防災訓練

日 時 平成 30 年 10 月 21 日(日) 災害対策本部訓練 午前 8 時 30 分～正午
各訓練会場 午前 9 時～正午

目 的 大規模な地震が発生したとの想定のもとで、市民の迅速な避難、関係機関との連携及び自主防災組織の行動力の向上を図った。また、第一小学校及び第二小学校においては、全児童及び教職員が参加した。

場 所 災害対策本部 福生市役所 (143 人)
第 1 訓練会場 福生第一小学校 (568 人)
第 2 訓練会場 福生第二小学校 (566 人)
第 3 訓練会場 福生第三小学校 (174 人)
第 4 訓練会場 福生第四小学校 (176 人)
第 5 訓練会場 福生第五小学校 (95 人)
第 6 訓練会場 福生第六小学校 (152 人)
第 7 訓練会場 福生第七小学校 (119 人)
第 8 訓練会場 福生第一中学校 (113 人)
第 9 訓練会場 福生第二中学校 (54 人)
第 10 訓練会場 福生第三中学校 (72 人)
第 11 訓練会場 防災食育センター (110 人)
福生市災害ボランティアセンター 福生市福祉センター (68 人)
(ふっさボランティア・市民活動センター)

※ () 内は各訓練会場参加者数

参加機関 福生市、福生市消防団、羽村市消防団、福生消防署、福生市交通安全推進委員会、福生アマチュア無線クラブ、陸上自衛隊第一施設大隊、航空自衛隊作戦システム運用隊、公立福生病院、福生市医師会、東京都柔道整復師会西多摩支部福生地区、福生消防署防災女性の会、武陽ガス(株)、(株)NTT東日本、福生LPG協会、西多摩運送(株)、東京消防庁災害時支援ボランティア、東京都水道局、児童・生徒・教職員(学校関係者)、福生市社会福祉協議会ふっさボランティア・市民活動センター、都立多摩工業高等学校、自主防災組織、福生市民生委員・児童委員協議会

参加者数 2,412 人

イ 起震車体験訓練

運用回数 17 回(平日 7 回、土・日・祝祭日 10 回)
運用先 自主防災組織 4 回、学校等 9 回、事業所等 4 回
体験者数 延べ 2,036 人

(2) 災害対策事業

ア 防災啓発活動

(ア) 自主防災リーダー講習会

講習日 平成 30 年 6 月 23 日(土) 午前 10 時～正午
場 所 防災食育センター
受講者数 50 人

(イ) ふっさ防災展

開催日 平成 31 年 1 月 18 日 (金) ・ 19 日 (土)
場 所 福生市プチギャラリー
内 容 身近なものを利用した防災グッズ展示、家具転倒防止器具、住警器等の
展示、子ども用ミニ消防服試着コーナー、災害用備蓄食糧の展示及び試
食、ペDESTリアンデッキにおける煙体験及び初期消火体験など(19 日
のみ)
見学者数 延べ 794 人

(ウ) 自主防災組織による災害体験学習

実施地区 28 地区
参加者数 818 人
内 容 防災学習センター等における施設見学や体験訓練など

(エ) 自主防災訓練の実施

実施地区 32 地区
参加者数 延べ 2,612 人
主な内容 初期消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練、防災資機材・軽可搬ポ
ンプ操作訓練(点検を含む。)など

イ 各自主防災倉庫主な配備品

品 名	各数量	品 名	各数量
毛布	15 枚	投光機	1 台
ポリタンク	1 個	三脚(投光機用)	1 台
応急救護セット	1 セット	発電機	1 台
骨折セット	1 セット	ガソリン携行缶	1 個
救急箱	1 セット	ロープ(15m)	1 巻
担架	4 台	三角バケツ	10 個
テント	1 張	のこぎり	1 本
ヘルメット	45 個	オイルパン	2 個
ハンドマイク	2 台	メガホン (トランジスター型 1 個)	5 個
移動式炊飯器	1 台	のぼり旗	2 本
防水シート	10 枚	リヤカー (折り畳み式 2 台)	3 台
スコップ	5 本	バール	1 本
コードリール	1 巻	ラジオ付ライト	3 個
強力ライト	3 個	チェンソー	1 台
ハンマー	3 本	災害救助工具セット	2 セット
つるはし	1 本	消火栓スタンドパイプセット	1 台
一輪車	1 台	軽可搬式消防ポンプ ※	1 台

※ 内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美地区 計 13 地区

ウ 市内備蓄倉庫主な応急対策資器材・物資備蓄品

品名	各数量	品名	各数量	品名	各数量
乾パン	2,400食	テント	36張	土嚢袋	1,560枚
サバイバルフーズ	37,320食	簡易更衣室用テント	18張	土嚢用止め杭	1,200本
アルファ米	48,500食	担架	93台	木杭	19本
ライスクッキー	2,880食	毛布	7,495枚	鋼板	35枚
保存用乾燥おかゆ	6,000食	災害用簡易ベッド	56台	防水シート	771枚
クラッカー	8,680食	折り畳み式寝具	63台	ロープ	400m
災害備蓄用パン	10,320食	ござ	600枚	スコップ	136本
薄焼きビスケット	8,304食	応急医療セット	5セット	つるはし	100本
ショートブレッド	9,900食	包帯	350巻	掛矢	36本
飲料水(500ml)	8,088本	脱脂綿	200包	折り込み鋸	10本
粉ミルク	176,000g	マスク	5,520枚	ハンマー	9本
スプーン	1,000本	簡易トイレ	158台	斧	10本
おぼん	500個	ワンタッチトイレ	20台	ジョレン	144本
おわん	3,000個	マンホール式トイレ	21台	チェンソー	10台
コップ	3,000個	トイレトペーパー	2,184巻	パイル	300本
哺乳ビン	570本	紙オムツ大人用	300個	投光器及び三脚	26台
哺乳ビン用乳首	670個	紙オムツ幼児用	2,820個	強力ライト	70個
ポリタンク	20個	生理用品	3,780個	防水ライト	50個
折畳式ウォータータンク	40個	コンパクト肌着	1,600枚	安全キャンドル	60個
ウォーターパッカー	2台	雨具	20セット	補給用ろうペレット	60個
メガホン	100個	鉄火鉢	46台	発電機	26台
ハンドマイク	16台	固形燃料	158個	ガソリン携行缶	22台
		ハンドル充電式ラジオ	57個	コードリール	20台

エ 各避難所倉庫主な配備品内訳

品名	各数量	品名	各数量
クラッカー・薄焼きビスケット	590食	炊き出し釜	1台
簡易トイレ	2台	鉄火鉢	2台
防水シート(ブルーシート)	12枚	固形燃料	8個
投光機及び三脚	1台	ポリタンク	2個
発電機	1台	ハンドル充電式ラジオ	1個
ガソリン携行缶	1個	安全キャンドル	3個
テント	1張	補給用ろうペレット	3個
担架	2台	メガホン	5個
マスク	480枚	のぼり旗(避難所)	1枚
セルフケアセット	2セット	バルーン投光機	1台
簡易更衣室用テント	1台	カセットガスボンベ式発電機	1台

オ 初期消火体制整備

街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

2 消防活動

(1) 常備消防（福生消防署）

福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員203名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、特殊化学車1台、化学車1台、はしご車1台、救急車4台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で消防活動、予防行政の執行等に従事している。

出場状況（管轄区域）

（単位：件）

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
38	25	6	7,543	259	80	69	8,020	8,076

(2) 非常備消防（福生市消防団）

市内にある5個分団からなる消防団組織（団員181人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有）により、消防活動を実施している。

ア 消防団組織

団 長 — 副団長 (1人) (4人)	第一分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (15人)
	第二分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第三分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第四分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第五分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
本部付団員 (6人)	

イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車両の種類	車両購入年月日
団本部	八王子 800 さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」（日産）	平成15年9月
第一分団	八王子 830 さ2301	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成26年1月
第二分団	八王子 830 さ2302	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成25年1月
第三分団	八王子 830 さ2303	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成27年2月
第四分団	八王子 830 さ2304	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成24年2月
第五分団	八王子 830 さ2305	普通消防ポンプ自動車（いすゞ）	平成27年2月

ウ 年齢別団員数

（単位：人）

年齢 団員数	18～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51歳以上
181	4	27	46	53	27	16	8	0

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
181	55	61	28	20	14	3	0

オ 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成30年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	平成31年4月1日現在
本 部	5				5
本部付団員	6				6
第 一 分 団	27	1	4		30
第 二 分 団	35	2	2		35
第 三 分 団	35	3	3		35
第 四 分 団	35	2	2		35
第 五 分 団	33		2		35
合 計	176	8	13		181

カ 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数 (件)	延べ出動団員数 (人)	平均出動団員数(人)
16	11	941	85.5

キ 消防団出動状況（風水害等）

延べ出動団員数 (人)	出 動 回 数 (回)
125	2

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数 (人)	出動回数 (回)
祭 礼 警 戒	133	2
七 夕 警 戒	492	4
歳 末 警 戒	287	5
そ の 他 の 警 戒	137	7
合 計	1,049	18
前 年 度 合 計	1,055	17

ケ 消防団各種訓練（消防）

訓 練 名	延べ出動団員数 (人)	出動回数 (回)
火 災 防 御 訓 練	325	7
ポ ン プ 操 法 訓 練	4,008	48
機 関 訓 練	1,503	60
規 律 ・ 礼 式 訓 練	336	10
教 育 訓 練	1,019	51
住 民 指 導	237	15
合 計	7,428	191
前 年 度 合 計	8,640	247

コ 消防団各種訓練（災害）

訓 練 名	延べ出動団員数 (人)	出動回数 (回)
教 育 訓 練	129	1
住 民 指 導	0	0
合 計	129	1
前 年 度 合 計	0	0

※前年度（平成29年度）は総合防災訓練の中止に伴い訓練の実施はなかった。

サ ポンプ操法審査会（第 66 回）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的に実施している。なお、平成 30 年度はホースカーによるホース延長操法を実施した。

平成 30 年度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第五分団	第四分団
チーム成績	第二分団 B	第四分団 B	第五分団 B

前 年 度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第二分団	第四分団	第三分団
チーム成績	第二分団 B	第四分団 B	第三分団 B

(3) 火災の状況

ア 区分別火災発生件数

区 分	建 物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	※ 焼失面積 (m ²)	非火災 (件)	消 防 団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼※ (件)	ぼや (件)						
30 年度	1	3	6	0	6	16	247(4)	6	11
前年度	2	3	5	0	7	17	339 (142)	13	22

※半焼は、部分焼を含む。

※焼失面積は焼失床面積、() 内は天井、壁等の焼失表面積

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原 因		放 火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件 数	平成 30 年度	3	3	0	4	0	6	16
	前 年 度	3	4	0	1	0	9	17

(4) 消防水利施設

ア 水 利

(単位：基、箇所)

消 火 栓		合 計	防 火 水 槽			貯 水 槽		合 計	プ ール
150 mm 未満	150 mm 以上		20 m ³ 未 満	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	100 m ³ 以 上		
466	157	623	29 (0)	5 (0)	95 (88)	18 (18)	21 (21)	168 (127)	16

() は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設、移設及び補修箇所

移設箇所 7 か所 補修箇所 21 か所